

【政府・文部科学省の動き】

地方国立大「存続ムリ」、競争型の交付金案牽制

日本の半分の県から国立大学が姿を消しかねない。国立大への国の運営費交付金の配分方法について、経済財政諮問会議の民間議員が「競争原理の導入」を提言したのに対し、文部科学省がこんな試算をまとめた。国立大の危機感を背景に一定の前提を置いて計算したもので、諮問会議側を牽制する狙いがあるとみられる。（朝日新聞 07/03/17）

<http://www.asahi.com/national/update/0317/TKY200703170284.html>

世界トップレベル研究拠点，4月末から公募開始

8月下旬に5拠点決定，研究大学としての生き残りをかけ競争激化

世界トップレベル研究拠点プログラム委員会が，2007年2月27日，午前10時から東京丸の内での文部科学省で始まった。8月下旬までに4回の委員会を開催，4回目には外国人の審査委員も参加して最終のヒアリング調査を行い，5カ所の研究拠点が選定される。基礎科学を中核とした国際競争力のある拠点形成に政府が本腰を入れた。従来ばらまきに終わったCOEとは異なり，今回の拠点選定は，各大学が教育大学となるか，研究大学となるか，今後の発展を決定付けるものとなる。しかも，今回の予算は単純な研究費の補助金ではないことに大きな特徴がある。（日経BP 07/03/05）

<http://biotech.nikkeibp.co.jp/bionews/detail.jsp?id=20042334>

日中韓研究不正行為対策行政官会合の開催結果

目的：日中韓3カ国における研究不正行為対策に関する情報交換を行うため，本年1月12日開催の「第1回日中韓科学技術協力担当大臣会合」での合意に基づき開催したもの。（文部科学省 07/03/01）

http://www.mext.go.jp/a_menu/kagaku/kokusai/bunsoyo/07030114.htm

OECD - 文部科学省「科学の公正性確保と不正行為防止のための専門家会合」開催結果

目的：OECD加盟国等における研究不正（論文の捏造，改ざん，盗用等）への対策状況について，加盟国等の行政官，専門家より紹介し，情報交換するとともに，研究不正への効果的な対策方法，研究不正の起きにくい科学システム等を探索する。（OECD事務局によれば，OECDのような国際機関の下，このテーマで行政官，専門家が一同に会する世界初の会合である。）（文部科学省 07/03/01）

http://www.mext.go.jp/a_menu/kagaku/kokusai/bunsoyo/07030115.htm

早稲田大学森康晃教授の公的研究費不正使用問題に係る不正額（約48万円）の返還と公的研究費への参加・申請資格の停止について

(文部科学省 07/03/09)

http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/19/03/07030905.htm

総合科学技術会議生命倫理専門調査会，次の検討テーマは，ヒトES細胞を用いた臨床研究の規制か？

総合科学技術会議生命倫理専門調査会は，2007年3月8日，文部科学省が諮問していた「ヒトES細胞の樹立および使用に関する指針の改正について」を妥当と認める，との答申案を示した．3月末に開催される総合科学技術会議で，正式な答申が出される．(日経BP 07/03/08)

<http://biotech.nikkeibp.co.jp/bionews/detail.jsp?newsid=SPC2007030844937&id=0>

教育再生会議，大学院充実の作業部会設置

政府の教育再生会議(座長，野依良治・理化学研理事長)は9日，教育再生分科会(第3分科会)を開き，大学院改革などを検討する「プロジェクトX検討チーム」を設置することを決めた．日本の大学院は国際競争力がないうえ，社会人や留学生らが入学しにくく閉鎖的だとの問題意識をもとに，国内外に開かれた大学院入試のあり方，博士課程の学生に対する資金援助の充実など抜本的な改革案づくりに取り組む．(朝日新聞 07/03/09)

<http://www.asahi.com/edu/news/TKY200703090321.html>

捏造番組に再発防止計画 放送法改正案を閣議決定

政府は6日午前，捏造番組を放送した放送局に再発防止計画の提出を求める制度や，複数の民間放送局を子会社として保有できる「認定放送持ち株会社」の解禁などを柱とする放送法改正案を閣議決定した．今の通常国会に提出し，会期中の成立を目指す．(北海道新聞 07/03/07)

http://www.hokkaido-np.co.jp/Php/ki_ji.php3?&d=20070308&j=0022&k=200703070910

教育関連3法：政府骨子，与党検討会が了承 月内国会提出へ

与党教育再生検討会(座長・大島理森元文相)は13日，安倍晋三首相の教育関連3法改正に関する指示を受け，政府の改正骨子を了承した．政府は改正案を月内に国会提出するが，公明党が教育委員会の私立学校への関与に慎重なほか，地方団体の反発も予想され，法案作成を巡る綱引きが続きそうだ．(毎日新聞 07/03/14)

<http://www.mainichi-msn.co.jp/shakai/edu/wadai/archive/news/2007/03/20070314ddm002010030000c.html>

クローズアップ2007：教育3法，改正答申 地方・国，深い溝

子の未来，議論30時間 - - 迷走，玉虫色

いじめ自殺や高校の履修単位不足を受け，安倍政権が最重要課題に掲げる「教育再生」，それを具現化する教育3法の改正について中央教育審議会が10日，答申した．わずか1カ月の審議だったが，その過程では，教育委員会制度に対する国の権限強化の思惑に地方側が猛反発，議論は迷走した．中教審は結局，答申を急がせた政府に対し，賛否の「両論併

記」という玉虫色の内容で応える形となった。(毎日新聞 07/03/14)

<http://www.mainichi-msn.co.jp/shakai/edu/wadai/archive/news/2007/03/20070311ddn003010018000c.html>

「教職大学院」来春から続々

学校運営や授業研究のリーダーとなる教員を育てる「教職大学院」が、08年春から各地の大学などに誕生する。子どもも教育内容も多様になった今、幅広い知識で同僚を引っ張れる人材の必要性はますます高まっている。教職大学院を想定した授業をしている兵庫教育大学(兵庫県加東市)で、ベテラン教員が将来の校長を意識して学ぶ様子を見た。(朝日新聞 07/03/12)

<http://www.asahi.com/edu/news/TKY200703120025.html>

平成18年度「大学教育改革プログラム合同フォーラム」記録集について

平成18年11月12日(日)、13日(月)の2日間にわたりパシフィコ横浜において開催しました「平成18年度 大学教育改革プログラム合同フォーラム」の記録集を発刊しましたので、Webサイトにおいて公開。本記録集は、当日の発表や議論の内容、会場の写真などにより構成されており、「大学教育改革プログラム」の情報提供の一環。(文部科学省)

http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/gp/kaisai/06092609/003.htm

教育再生会議の2次報告、大学改革が新たな焦点に

政府の教育再生会議(野依良治座長)が5月にまとめる第2次報告で、大学改革が新たな焦点に浮上してきた。少子化が進んで受験者数と合格者数が均衡する「大学全入時代」を控え、学力低下などが懸念されるためだ。具体案としては大学における奉仕活動の必修化や、9月入学の普及などが挙がる。ただ各委員の持論の相違なども表面化しており、意見集約には曲折も予想される。(日本経済新聞 07/03/22)

<http://www.nikkei.co.jp/news/seiji/20070322AT3S2100L21032007.html>

「大学経営強化の事例集 - 大学経営を成功に導くために - 」について

大学の経営強化に向けた実践的取組や経営手法について、平成18年度大学経営強化調査研究事業において文部科学省から日本私立学校振興・共済事業団に委託していた「大学経営強化の事例集 - 大学経営を成功に導くために - 」がとりまとめられた。本事例集は、今後の大学改革課題に機動的に対応するため、全国の国公立大学の経営に関して、成功事例等を幅広く収集し、国公立大学相互の参考に資する事例集として作成している。(文部科学省 07/03/27)

http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/19/03/07032706.htm

戦略的環境アセス：発電所を除外...大多数の委員反対したが

公共事業などの際、計画段階から住民の意見を聞いて環境影響評価を行う戦略的環境アセスメント(SEA)の導入を巡り、発電所を対象外とすることが注目されている問題で、環境省の「SEA総合研究会」(座長、浅野直人・福岡大教授)は27日夜、SEAの手続き

を定めた指針に関する報告書をまとめ、発電所を対象外とすることを盛り込んだ。大多数の委員が反対したが、座長一任の形で審議は打ち切られた。（毎日新聞 07/03/28）

<http://www.mainichi-msn.co.jp/science/env/news/20070328k0000e040016000c.html>

野口英世アフリカ賞

「野口英世アフリカ賞」は、アフリカでの感染症等の疾病対策に貢献した医学研究・医療活動を顕彰する国際賞として、2006年(平成18年)7月に閣議決定により創設された。現在、政府と関係機関が協力しつつ、2008年(平成20年)の第1回目の授賞に向けて準備を進めている。2007年4月より、この賞の賞金のための口座を開設し、本賞の趣旨にご賛同いただける方々から広く寄付を募ることとしている。（内閣府）

<http://www.cao.go.jp/noguchisho/index.html>

小中学校で「徳育」充実を、再生会議、2次報告へ検討

政府の教育再生会議は27日午後、有識者の中核メンバーでつくる「運営委員会」を都内で開き、小中学校で道徳教育（徳育）を充実させる必要性があるとの認識で一致した。5月に予定する第2次報告の柱の一つとする方針だ。29日には首相官邸で、第1次報告後初めて安倍晋三首相が出席する総会を開き、第2次報告に向けた今後の議論の方向性を協議する。（京都新聞 07/03/27）

<http://kyoto-np.jp/article.php?mid=P2007032700195&genre=F1&area=Z10>

【日本学術会議の動き】

エネルギーと地球温暖化に関する検討委員会

対外報告「地球温暖化とエネルギー - 持続可能な社会に向けた衡平な負担 -」（日本学術会議 07/03/22）

<http://www.scj.go.jp/ja/info/iinkai/energy/index.html>

科学者コミュニティと知の統合委員会

「提言：知の統合 - 社会のための科学に向けて -」（日本学術会議 07/03/22）

<http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-20-t34-2.pdf>

【大学・研究機関，学協会等の動き】

「助教」って何？ 大学の新たなポストなのですが...

全国の大学で4月、新たな職種「助教」が誕生する。教授らの便利屋になりがちな助手のあり方を見直し、教育研究を主な仕事とする人たち向けのポストだ。同時に助教授も「准教授」に名称を変える。「役割がはっきりし、人材育成につながる」と歓迎する声の一方、「名前を変えただけでは改善しない」との冷めた見方も根強い。（朝日新聞 07/03/28）

<http://www.asahi.com/life/update/0328/007.html>

全文掲載，多比良元東大教授の所感，「科学者のためにも懲戒解雇を認めることはできない」

元東京大学教授で，助手による論文ねつ造疑惑により懲戒解雇処分を受けた多比良和誠氏は2007年3月2日，文部科学省で記者会見を行い，東大を提訴したことを発表した．多比良氏が会見で配布した所感を，以下に全文掲載する．（日経BP 2007/03/05）

<http://biotech.nikkeibp.co.jp/bionewsn/detail.jsp?id=20042438>

法科大学院の認証評価始まる 第1号は早大と駒沢大

3年コースの第1期修了生を今月出した法科大学院で，文部科学相認定の第三者機関の認証評価が始まり，「第1号」の結果が26日，公表された．評価を受けたのは駒沢大と早稲田大で，両校とも基準を満たす「適合」と認定された．認証評価は5年以内にすべての大学院が受けることになっており，出そろえば受験生の学校選びの基準の一つになりそうだ．（朝日新聞 07/03/27）

<http://www.asahi.com/edu/news/TKY200703270002.html>

【科学・技術に関するトピックス等】

理系白書 07：第1部・科学と非科学 私の提言 / 上 池内了・総合研究大学院大学教授

今の社会には「科学がすべてを解明してくれる」と誤認している人が多い．確かに科学は生活の役に立ってきたし，寿命も延ばしてくれた．ここに誤認のもとがあるようだ．科学にも解決できないことはたくさんある．にもかかわらず，科学が答えを出してくれるに違いないと考えている．ダイエットにしても健康にしても，1日で手に入るわけではない．だが「手っ取り早く結果がほしい」との気持ちはあるし，時間に追われる現代人はコツコツ努力するという考えが希薄になっているようだ．科学的な装いで人々の気を引こうとする疑似科学ビジネスは，ここに付け込んでいる．（毎日新聞 07/03/14）

<http://www.mainichi-msn.co.jp/science/kagaku/news/20070314ddm016070032000c.html>

阪神大震災「首長判断遅く2千人犠牲」 石原氏が発言

石原慎太郎氏は8日夜の会見で防災策に触れ，「神戸の地震の時なんかは（自衛隊の派遣を要請する）首長の判断が遅かったから，2000人余計に亡くなったわけですよ」と発言した．阪神大震災の被災地で反発が出ている．（朝日新聞 07/04/09）

<http://www.asahi.com/national/update/0409/TKY200704080154.html>

【定期刊行物の特集等】

日本学術会議（日本学術協力財団発行）『学術の動向』

2007年3月号 特集：歴史としての戦後・思想としての戦後

<http://www.h4.dion.ne.jp/~jssf/text/doukousp/backnumber.html>

日本学術振興会発行『学術月報』
2007年4月号 特集：感染・免疫研究（予告）
2007年3月号 特集：日本の文化を世界から見直す（予告）
<http://www.jsps.go.jp/j-info/monthly.htm>

(株)ぎょうせい発行『文部科学時報』
2007年3月号 特集：早寝早起き朝ごはん
特別記事：中教審「次代を担う自立した青少年の育成に向けて」（答申）
http://www.gyosei.co.jp/home/magazine/monka/monka_07030.html

科学技術動向研究センター発行『科学技術動向』
72 2007年3月号 レポート1：再生医療を中心とした生体材料研究の現状
レポート2：海底活用のための探査技術 大陸棚画定調査への貢献
http://www.nistep.go.jp/achiev/ftx/jpn/stfc/stfc_all-j.html

文部科学省発行『文部科学広報』
第88号 2007年3月27日 平成18年度文部科学白書「教育再生への道／文化芸術立国の実現」
http://www.mext.go.jp/b_menu/kouhou/index.htm

【その他の雑誌等】

自然科学系の雑誌一覧（裳華房）
<http://www.shokabo.co.jp/magazine/index.html>

『日経サイエンス』
5月号 宇宙を造った見えざる手，暗黒エネルギー
特集：湯川秀樹生誕100年
<http://www.nikkei-science.com/>



『科学』
Vol.78(2007年)4月号 特集： 検索 の未来
<http://www.iwanami.co.jp/kagaku/index.html>

「JSA 学術情報ニュース」は、日本科学者会議学術体制部が入手し得た情報を編集して掲載します。原則として情報の要点のみを掲載し、編集者の論評等は加えません。
なお、それぞれの記事には出典を明示しますので、詳細な情報はそちらをご覧ください。
過去のニュースは日本科学者会議ホームページ(<http://www.jsa.gr.jp/>)に掲載しています。

(本号は、主に2007年3月の情報を扱っています。)